

ある調査^(※1)では「小学校高学年から中学生の時が最もしんどかった」と回答しているLGBTQの人が多かったようです。第二次性徴、恋愛の話題、限られた人間関係、いじめ…。「多様な人がいて当たり前」ということを伝えることが大切です。

(※1) 2019年に認定NPO法人虹色ダイバーシティが実施した「にじいろ子育てアンケート」

ランドセルの色、好きな色でええよって言われたのに、青を選んだら水色しておくように親から説得されてん

自分は他の人と違うって気づいてから、人からどう見えるかばかり気にするようになってしまった…

おじいちゃんおばあちゃんが買ってくれる服が、ヒラヒラしていて苦手やったけど、親は好きな服を着せてくれてん!

異性の友だちと遊んでたら、周囲からからかわれるようになって、遊ばれへんようになってしまった…

男女別のトイレに他の子と行きたくなくて、ずっと我慢してん

ショートカットにしたら、『オトコオンナ』って言われた…

制服のスカートが嫌やと先生に伝えたら、体操服で通えるようになったよ!

性のあり方はとても多様です。周囲の人たちが「女の子(女性)らしさ」「男の子(男性)らしさ」を当てはめようとしたり、否定したりすると、自分自身も含め、自分の好きなことを好きでいられなくなってしまう子もいます。ここでは、子どもの個性を考えるヒントとして、LGBTQの言葉の意味をご紹介しますが、これらがピッタリくる子もいれば、そうではない子もいます。

- L Lesbian (レズビアン)**
自分を女性と自認し、女性を好きになる人
- G Gay (ゲイ)**
自分を男性と自認し、男性を好きになる人
- B Bisexual (バイセクシュアル)**
女性を好きになることもあれば、男性を好きになることもある人
- T Transgender (トランスジェンダー)**
出生届に記載された性別とは異なる性自認を持つ人
- Q Queer (クイア)**
その他の性的マイノリティのことを総称する言葉または、
Questioning (クwestioning)
自分の性的指向や性自認が決まっていない人、決めていない人

「SOGI (ソジ)」って言葉もあるよ

SO Sexual Orientation (性的指向)
好きになる相手の性別

GI Gender Identity (性自認)
自分で認識している性別

SOGI (ソジ) という言葉は、2006年に開催されたLGBTの人権に関する国際会議頃より使用されるようになってきました。LGBTQは性的マイノリティの総称ですが、SOGIは性的マイノリティに限らず、すべての人の性に関する属性を表す言葉です。

🌸 子どもたちへ おすすめ図書 / 動画

- 書籍
 - 「マチルダとふたりのパパ」
著者:メル・エリオット
翻訳:三辺 律子
発行:岩崎書店 (2019年)
 - 「思春期サイババルー10代の時って考えることが多くなる気がするわけ。」
著者:ここから探検隊
発行:はるか書房 (2013年)
- YouTube動画
 - 「きみと友達でいたいから〜知りたい、多様な性のかたち〜ドラマ バスケ少年の秘密」
制作:大阪市人権啓発・相談センター
(2020年・8分)
<https://www.youtube.com/watch?v=19zTcTt-Iog>

🌸 保護者の方へ おすすめ図書 / 映画

- 書籍
 - 「はじめて学ぶLGBT基礎からトレンドまで」
著者:石田 仁
発行:ナツメ社 (2019年)
 - 「母ふたりで“かぞく”はじめました。」
著者:小野 春
発行:講談社 (2020年)
- 映画
 - 「パレードへようこそ」
監督:マシュー・ウォーチャス
(2014年・イギリス・120分)

💡 制服のズボンとスカート、好きな方を選ぶ学校もあるねんて

文部科学省から各学校に相談対応を求める通達^(※2)が出ています。中高の制服で、ズボンとスカートを選択可能にしている学校もあります。学生支援の組織がある大学もあります。

(※2) 平成27年4月30日「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」



💡 履歴書の性別欄、なくなるかもしれへんで

日本規格協会は、JIS規格の参考例として公表していた性別欄や顔写真欄のある履歴書を、2020年7月9日付で様式例から削除しました。履歴書の性別欄を巡っては、以前から「面接段階でアウティングを強要される」など、トランスジェンダー当事者から削除を求める声があがっていました。公正な採用のためにも、近い将来、履歴書から性別欄がなくなるかもしれません。

💡 パートナーシップ登録制度のある自治体がどんどん増えてるらしいで

パートナーシップ登録制度のある地方自治体はどんどん増えており、病院での家族証明、生命保険、住宅連帯ローン、公営住宅への入居、企業の福利厚生など、同性パートナーを家族として扱う事例が増えてきています。2019年には、札幌、東京、名古屋、大阪、福岡で、同性婚の実現を求める「結婚の自由をすべての人に」訴訟がはじまりました。



大阪市パートナーシップ宣誓書と登録証

そういう言い方はもうアカンねんで

💡 「オカマみたいやな」「あの人、元は男らしいで」「女なら化粧くらいせんと」「男なら結婚して家庭を持って一人前やで」などなど

これらの言葉はすべてハラスメントになります。LGBTQだけに限らず、不快に感じる人がたくさんいることも知っておきましょう。厚生労働省もLGBTQに関して、セクハラ指針やパワハラ指針、労働基準法に基づくモデル就業規則などで明記しました。東京都や大阪府等で、SOGIによる差別禁止・理解増進の条例ができました。ハラスメントは、日常に潜む問題であり、誰もが当事者意識を持つことが重要です。

💡 「最近のテレビではLGBTQの人よく見るけど、自分の周りにはおれへんわ」…それってホンマかな？

三重県が全日制高校を対象に行った調査^(※3)では、10%がLGBTQでした。10人に1人は、性的マイノリティだということになります。友達や家族の中にもLGBTQの人がいる、というのは珍しいことではありません。しかし実際に自身の性のあり方をオープンにしている人はまだまだ少ないのが現状です。なかなか存在は見えないけれども、自分の周りにもいるんだ、と意識することが大切です。

(※3) 2018年に三重県の高中生1万人を対象に実施した三重県男女共同参画センターと宝塚大学看護学部の日高庸晴教授による共同研究のアンケート調査

